

加工入力

加工伝票を登録すると、材料、製品、残材の在庫管理を行うことができます。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

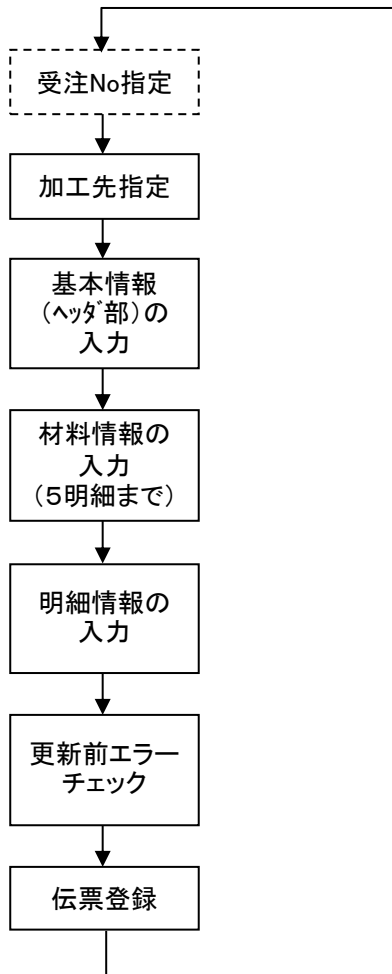
Point

・生産入力することにより、以下の業務が可能となります。

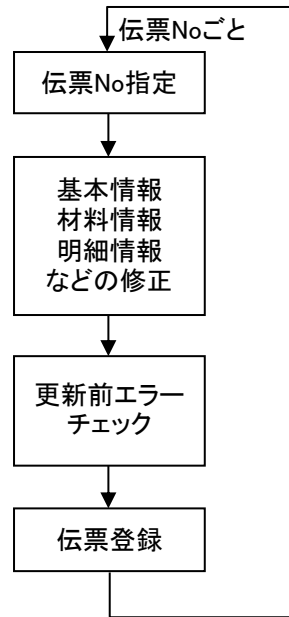
- ① 指定した日付で製品の在庫を増加、材料の在庫を減少させることが可能です。
残材が発生する場合は、残材の在庫を増加させることが可能となります。
- ② 加工依頼書を発行することが可能です。

1) 加工入力の操作の流れ

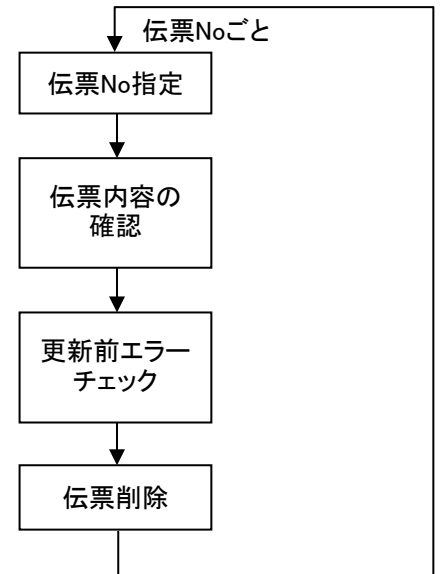
i) 新規登録



ii) 伝票修正



iii) 伝票削除



※ LOT管理をしている商品で、製品伝区で登録したLOTが他伝票で指定されている場合は、明細削除その明細が含まれる伝票の削除はできません。
また、伝票修正の際に倉庫やLOTNo、他一部の項目について変更はできません。

※新規伝票は、受注明細を指定して作成することも、受注関係なしに作成することもできます。

2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

項目名称	説明
伝票No	加工伝票Noです。
受注No	新規入力の場合に指定可能です。 受注Noを指定すると明細情報に受注伝票の内容が初期表示されます。
受注納期 受注得意先	受注Noを指定すると、受注伝票の基本情報の納期、得意先名を表示します。
加工先	仕入先コードを指定します。マスタ検索の画面から選択も可能です。 加工先名は仕入先コードを入力すると仕入先マスタの名称が表示されます。 表示後に訂正可能です。
加工区分	「依頼」「加工」から選択します。 「依頼」を選択した場合は、表示中の商品の在庫は変化しません。 「加工」を選択した場合は「加工完成日」を必ず入力してください。 加工完成日時点で、材料情報に入力した商品の在庫が減少し、明細項目で入力した商品の在庫が増加します。 ・加工依頼書はどちらを選択した場合でも発行可能です。 ・明細で登録したLOTNoが他伝票に指定されている場合は変更できません。
伝票日付	加工伝票を登録した日付です。
加工種別	補助分類登録の加工種別 で登録したコードを指定します。 指定せずに伝票入力をおこなうことも可能です。
加工納期	加工納期を入力します。
加工完成日	加工区分が「加工」の場合は必須入力です。 この日付時点で在庫が増減します。
スクラップ原価	チェックをつけるとスクラップ原価を算出します。 スクラップ原価とは、材料情報のグループNoと明細情報のグループNoが同じ 材料重量－明細重量の結果をスクラップ重量とし その合計に対してスクラップ単価を掛けたものです。
材料種別	「自社」「加工賃」から選択します。

項目名称	説明
担当者	<p>この伝票の担当者を指定します。 仕入先マスタの営業担当者が初期表示されます。 事業所名は担当者横に表示されています。担当者の所属する事業所が表示されます。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更となってもデータにセットされた事業所は変更されません。</p>
納入先	<p>納入先コード^①を指定します。マスタ検索の画面から選択も可能です。</p>
詳細情報 入力ボタン	<p>詳細情報入力画面を起動し、摘要と備考が入力できます。 入力した内容は加工依頼書へ印字されます。 詳細項目欄のタイトルは運用設定で変更可能です。 備考欄はCtrl+Enterで改行可能です。</p>

3) 材料入力項目の説明

入力画面の中部にある所を材料入力欄と呼びます。
ここで入力した在庫が減少します。

材料入力							
	Gno	LOTNo	商品コード	品名	規格型番	寸法 1	寸法 2
1	0		0101	コイル-材料		0.00	
2	0					0.00	
3	0					0.00	
4	0					0.00	
5	0					0.00	

項目名称	説明
Gno (グループNo)	明細情報と紐づける場合に指定します。 明細情報と紐づけることによって、製品の原単価、原価を歩留りを考慮して計算することが可能となります。 また、スクラップ ^o 重量を算出する際にもグループNo単位で計算が行われます。
LOTNo	商品マスタのLOT区分が「LOT商品」の場合は必須入力です。 手入力またはF4・Spaceで表示されるLOT別在庫一覧画面から選択することも可能です。 LOTNoを入力すると、LOT入荷時の情報(商品コード、入荷時寸法、入荷時単価)などを取得し該当する明細項目の初期値として採用されます。 ※ LOT入荷時の商品コード、寸法以外は入力できません。 寸法を変更するLOTNoがクリアされます。
商品コード ^o	切断する材料の商品コード ^o を入力します。 LOTNo入力時は、LOT入荷時の商品コード ^o が設定されます。
品名	商品コード ^o 選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。
品名2 (規格型番)	品名の補足情報を入力します。
寸法1~3 長さ	商品コード入力時にマスタに登録している寸法と長さが初期表示され、表示後訂正可能です。 LOTNo入力時は、LOT入荷時の寸法と長さが設定され、変更すると入力したLOTがクリアされます。 形状マスタに設定している重量計算区分に応じて単位重量が自動計算されます。
員数	材料として使用する数量を入力します。 員数の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
重量	材料として使用する重量を入力します。 入力した寸法と長さから自動で計算されます。 重量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
原 (原単価区分)	P、Kのみ入力可能です。 商品マスタの原単価区分の値が初期表示されます。
原単価	商品マスタの売上原価計算法が「標準原価」の場合は標準原価単価を「最終仕入」「倉庫別移動平均」「月別総平均」「LOT原価」の場合は在庫単価が初期表示されます。
原価	原単価区分に応じて自動計算されます。 原単価区分「P」の場合： 原単価 × 員数 原単価区分「K」の場合： 原単価 × 重量
倉庫	ヘッダの担当者の事業所の倉庫が初期設定されます。初期値設定後に変更可能です。 指定した倉庫の在庫が減少します。
備考	備考を入力します。
LOT連番	LOTNo指定時に、システムで管理している連番が自動的に設定されます。

4) 明細入力項目の説明

入力画面の下部にある所を明細入力欄と呼びます。

ここで入力した在庫が増加します。

明細情報									
削除	伝区	LOTNo	商品コード		品名	寸法1		寸法2	
		LOT連番	Gno	規格・型番		公差+/-	公差+/-	公差	公差
1	<input type="checkbox"/> 加製品	220615039	ma017		SGCC Z08	0.43		300.00	
		40	1			0.200	0.200	0.000	0.000
2	<input type="checkbox"/> 加製品	220615039	ma017		SGCC Z08	0.43		250.00	
		41	1			0.200	0.200	0.000	0.000
3	<input type="checkbox"/> 入庫					0.00		0.00	
			1			0.000	0.000	0.000	0.000
*	<input type="checkbox"/> 加製品					0.00		0.00	
			0			0.000	0.000	0.000	0.000

項目名称	説明
伝区	<p>以下の伝区より選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加製品・・・製品となる商品の明細を入力します。 ・入庫・・・ 材料から製品を製作した際の残材を入力します。 <p>※ 残材を再度在庫管理する場合は入庫伝区で処理をすることで在庫として戻すことが可能です。 在庫として戻さない場合は入庫伝区の明細は入力不要ですが、 材料重量－(加製品伝区の重量＋入庫伝区の重量)がスクラップ°重量となり、 スクラップ°重量分の在庫金額は加製品伝区の前価に反映されます</p>
LOTNo	<p>商品マスタのLOT区分が「LOT商品」の場合に入力可能です。 伝未入力で伝票を更新すると、伝票日付yyymmddとLOT連番の下3桁が設定されます。</p> <p>伝区が「入庫」の場合は入力必須です。 手入力または、F4・Spaceキーで表示されるLOT別在庫一覧画面から選択することも可能です。 LOTNoを入力すると、LOT入荷時の情報(商品コード、入荷時寸法、入荷時単価)などを取得し 該当する明細項目の初期値として採用されます。</p>
LOT連番	LOTNo指定時に自動的に設定されます。
Gno (グループNo)	<p>明細情報と紐づける場合に指定します。 明細情報と紐づけることによって、製品の原単価、原価を歩留りを考慮して計算することが可能となります。 また、スクラップ°重量を算出する際にもグループNo単位で計算が行われます。</p> <p>※ 材料入力欄で指定したGno以外を指定することはできません。</p>
商品コード°	製品または入庫する材料の商品コード°を入力します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択することもできます。
品名	商品コード°選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。
品名2 (規格型番)	品名の補足情報を入力します。
寸法	商品コード°入力時にマスタに登録している寸法が初期表示され、 LOTNoを入力した場合は、LOT入庫時の寸法が初期値として表示されます。
公差	公差を入力します。
単位重量	形状マスタに設定している重量計算区分に応じて自動計算されます。 表示後訂正も可能です。 重量計算区分が、「単位重量×員数」「単位重量×長さ×員数」の場合は商品マスタの 単位重量が表示されます。
倉庫	ヘッダの担当者の事業所の倉庫が初期設定されます。 コード°を直接変更するか、 F4またはSpaceにて表示される倉庫参照画面から変更も可能です。 指定した倉庫の在庫が増加します。

項目名称	説明
員数	完成品または入庫として戻す数量を入力します。
重量	完成品または入庫として戻す重量を入力します。 入力した寸法と長さから自動で計算されます。
原 (原単価区分)	P、Kのみ入力可能です。 商品マスタの原単価区分の値が初期表示されます。
単位	単位を選択または手入力を入力します。
原単価	商品コード入力時に在庫単価が初期値として設定されます。 LOT商品の場合は、材料入力欄のGNOと同じGNOを入力した明細の 入庫伝区やスクラップ重量・金額を考慮して原単価を算出します。 「詳細は次ページ 6) 歩留りを考慮した原価計算について を参照」
原価	原単価区分に応じて自動計算されます。 原単価区分「P」の場合： 原単価 × 員数 原単価区分「K」の場合： 原単価 × 重量
備考	備考を入力します。
受注No 受注行No	製品伝区の場合に受注Noの欄でF4またはスペースキーを押すと、受注明細検索画面が 起動し受注明細を選択することが可能です。 製品明細と受注明細を紐づけることで受注No別原価表で集計することが可能となります。

5) フッタ項目の説明

材料員数計	材料重量計	製品員数計	製品重量計	スクラップ重量	スクラップ単価	スクラップ原価計
0	100	0	90	10	15.0000	150

【原単価】商品マスタの在庫単価または標準原価が初期表示されます

加工依頼書

項目名称	説明
材料員数計	材料入力の員数の合計です。
材料重量計	材料入力の重量の合計です。
製品員数計	明細項目の伝区を「加製品」に指定した員数の合計です。
製品重量計	明細項目の伝区を「加製品」に指定した重量の合計です。
スクラップ 重量	材料情報のグループNoと明細情報のグループNoが同じ 材料重量－明細重量の合計です。 ※ スクラップ重量を算出する場合は、運用設定の「スクラップ重量を算出する」の値を 【する】に設定しておく必要があります。
スクラップ 単価	基本情報の「スクラップ原価を算出する」がチェックONの場合に、 運用設定で設定したスクラップ単価が初期表示され、手入力へ変更可能です。
スクラップ 原価計	スクラップ重量 × スクラップ単価で自動計算されます。
加工依頼書	チェックを付けると、伝票更新後に加工依頼書が即時発行されます。

6) 歩留りを考慮した原価計算について

材料入力欄のグループNoと明細入力欄のグループNoが同一の場合「加製品」伝区の原単価を重量の歩留りを考慮して自動計算されます。

※ 歩留り計算は商品マスタのLOT区分が「LOT商品」のみ対応しています。

材料入力			
Gno	重量	原単価	原価
1	100	120	12,000

明細入力				
伝区	Gno	重量	原単価	原価
加製品	1	60	130	7,800
入庫	1	35	120	4,200

スクラップ重量
5

スクラップ重量 = 材料重量 - 加製品重量 - 入庫重量

「加製品」原単価 = $\frac{(\text{加製品重量} + \text{スクラップ重量}) \times \text{材料原単価}}{\text{加製品重量}}$

スクラップ原価を算出するがチェックオンの場合)

材料入力			
Gno	重量	原単価	原価
1	100	120	12,000

スクラップ原価 スクラップ原価を算出する

明細入力				
伝区	Gno	重量	原単価	原価
加製品	1	60	128.75	7,725
入庫	1	35	120	4,200

スクラップ重量	スクラップ単価	スクラップ金額
5	15	75

「加製品」原単価 = $\frac{(\text{加製品重量} + \text{スクラップ重量}) \times \text{材料原単価} - \text{スクラップ金額}}{\text{加製品重量}}$